

国民生活基礎調査【貯蓄票】

(平成22年7月15日調査)

調査員記入欄

地区番号		単位区番号		世帯番号	
------	--	-------	--	------	--

<記入上の注意>

- ・『(貯蓄票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・世帯主だけでなく世帯員全員の貯蓄、借入金の合計を記入してください。
- ・ここでいう貯蓄・借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めます。
- ・できるだけ黒のボールペンで記入してください。

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。

秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

世帯主又は世帯を代表する方がお答えください。

質問1 あなたの世帯に以下に掲げる貯蓄はありますか(平成22年6月末日現在)。

あてはまる番号に○をつけ、貯蓄がある場合は、(1)~(4)の合計貯蓄現在高を記入してください。

(1) ゆうちょ銀行、銀行、信用金庫、農業協同組合などの金融機関への貯蓄
(預金)(通常貯金・普通預金、定額・定期貯金(預金)、積立貯金(預金)、当座預金等) 1 有 2 無

(2) 生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料(掛け捨ての保険は除きます。)
【計算例】 1 有 2 無
・月々の払込み額×12(か月)×これまでに払込んだ年数
・年間の払込み額×これまでに払込んだ年数

(3) 株式・株式投資信託(時価) } ※時価は
債券(額面)、公社債投資信託(時価) } 6月末日で計算
金銭信託・貸付信託(額面) 1 有 2 無

(4) その他の預貯金(財形貯蓄、社内預金等) 1 有 2 無

合計貯蓄現在高

					万円
億	千	百	十	一	

質問2 あなたの世帯の貯蓄現在高は昨年(平成21年6月末日)と比べて変わりましたか。

あてはまる番号に○をつけ、貯蓄が減った場合は減少額、減少理由を記入してください。

- 1 増えた
- 2 変わらない
- 3 減った

減少額

					万円
億	千	百	十	一	

あてはまるすべての理由の番号に○をつけてください。

- 1 日常の生活費への支出
- 2 土地・住宅の購入費
- 3 入学金、結婚費用、旅行等の一時的な支出
- 4 株式等の評価額の減少
- 5 その他

質問3 あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金はありますか(平成22年6月末日現在)。

あてはまる番号に○をつけ、借入金がある場合は合計借入金残高を記入してください。

1 借入金あり → 合計借入金残高

					万円
億	千	百	十	一	

2 借入金なし

ご協力ありがとうございました。